

2015年。新しい年が始まり、早や20日が経ちました。“インフルエンザ警報”が全国的に発令されています。体調管理に気をつけて冬を乗り切りましょう。現在会員登録数1,616人さま。ご愛読ありがとうございます。次号は2月20日発行の予定です／

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》YO!この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

《2》読書活動ボランティアのためのワンポイント 53

《3》サイト紹介 -子どもの本をリサーチする-

《4》行って来ました!

【3】全国イベント紹介

【4】プレゼント

【1】お知らせ

● 「日産 童話と絵本のグランプリ」受賞作品原画展

当財団主催、「第30回日産 童話と絵本のグランプリ」(平成25年度実施)の入賞作品の原画展を開催しています。3月上旬に予定しています第31回(平成26年度実施)グランプリの発表後は、新しい入賞作品の原画に展示替えします。

日 時: 開催中～3月27日(金) *ただし、国際児童文学館の開館日時

場 所: 大阪府立中央図書館 国際児童文学館 (東大阪市荒本)

入場料: 無料

http://www.iiclo.or.jp/07_com-con/02_nissan/index.html

● 懐かしの街頭紙芝居～「少年ローン・レンジャー」とその時代～

日 時: 平成27年1月25日(日) 午後2時30分～4時45分

場 所: 大阪府立中央図書館 2階大会議室 (東大阪市荒本)

定 員: 80名 講演会のみ事前申込必要(申込先着順)

参加費: 無料

1. 街頭紙芝居実演 「少年ローン・レンジャー」等

出演・講師: 塩崎おとぎ紙芝居博物館

2. 講演会「街角の子ども文化～紙芝居の歩みと今日的意義～」

講 師: 畑中圭一(童謡詩人、児童文学研究者)

共 催: 大阪府立中央図書館 国際児童文学館/大阪国際児童文学振興財団

協 力: 一般社団法人 塩崎おとぎ紙芝居博物館

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募ってい

ます。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いします。
お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

【2】コラム

《1》 YO!この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

『サマーと幸運の小麦畑』 シンシア・カドハタ/著 代田亜香子/訳 金原瑞人選
オールタイム・ベストYA 作品社 2014年8月 対象年齢：小学校高学年以上

あらすじ：12歳のサマーはアメリカに住む日系3世。両親が日本へ一時帰国したため、祖父母と弟とともに、小麦の刈取の請負業者の元で3か月を過ごすことになる。祖父は小麦を刈り、祖母とサマーは働く人たちの食事を作る。弟ジャズは友だちができないことを悩んでおり、前の夏にマリアアにかかったサマーは蚊の対策に懸命になり、祖母は腰の痛みを訴え続け、祖父は作業中に熱を出す。

O：スタインベック著『怒りの葡萄』の児童文学版とも言える作品になっていました。現代を舞台にしながら、家のローンに苦しみ、夏に小麦を刈る季節労働者として過ごさなければならない日系の家族の労働や人生に対する考え方に説得力がありました。

Y：雇い主のパーカーさんは、良心的でじいちゃんのことでも心配しています。

O：それでもそこには厳然たる溝があることもきちんと書かれています。

Y：著者のカドハタさんは、『きらきら』や『草花とよばれた少女』（いずれも代田亜香子/訳 白水社 2004年、2006年）同様、本作でもアメリカの日系の少女の繊細な心を描写しています。サマーはマリアアに再度かからないかと死の恐怖を感じつつ、蚊のデッサンに執着しています。また、死の不安は、祖父母への思いともつながっています。同時に、パーカーさんの息子とキスしたり、病気の祖父の代わりにコンバインを運転したり、生きることに必死です。

O：極めて哲学的で社会性のある繊細な作品ですね。じいちゃんが寝る前に語る人生についての一言、おばあちゃんがサマーが成長したと泣く様子、パニック障害だと思われる弟ジャズが友だちができないことについて悩む様子など、サマーだけでなく、それぞれの登場人物が極端に描かれているのに魅力的でした。

Y：私はシャブシャブやじいちゃん、おばあちゃんという呼称など、日本の文化が日系の家族にどう伝えられているのかという点も興味深かったです。

O：原題は*The Thing About Luck*で、幸運だけではないので、題名は、もう少し違ってよかったのでは…『幸運か不運か — 麦刈りの出稼ぎ夏休み』とか、うーん、難しいね。

Y：表紙もサマーのイメージと全く違ってとまどいました。そして、英語で読むと12歳の子どもがずっと読むことができる文体になっていて、この差も少し気になりました。

その9 おはなしを語る(3) おはなしを選ぶ 3

前回は「二ひきのよくばり子グマ」(『子どもに聞かせる世界の民話』矢崎源九郎編 実業之日本社 1964年)の構成について確認しましたが、今回は、おはなしがどのように始まっているかを確認したいと思います。

冒頭は、「ガラスの山のむこうに、きぬの野原のむこうに、だれも、はいつたことのない、だれも見なかったことのない、深い深い森がありました。」から始まります。「むかし、むかし、あるところに」という時間と場所から始まる常套句も、おはなしの世界への誘い方としてはとてもスムーズですが、「ガラスの山」「きぬの野原」という詩的な表現が出てくることによって、聞き手はいきなり、現実世界とは異なる世界に連れていかれます。ガラスと絹の透明感、ぴんと張りつめたような空気、繊細さ、不安定さなどがハンガリーの地理的な情景と、これから起こるこのおはなしの雰囲気をも十分に伝えていて見事です。

そして、その場所は、「だれも、はいつたことのない」「だれも見なかったことのない」「深い深い」森です。2回の繰返しが2回あることで、未知の世界へ誘われるのが耳で聞いて体験できます。

場所が確定されたところで、「クマの親子＝二ひきの子グマとおかあさんグマ」という登場人物が紹介されます。先に子グマが出てくることで、主人公は子グマであることがわかります。そこから、子グマが旅にでかけるまでに、2つの地の文と2つの会話しかありません。そこには、子グマの「世の中に出てしあわせをつかむ」という目的、母グマの許可、そして、母親の「けんかをしてはいけない」というただ一つの教えとそれに対する子グマの「けんかなんか、するものですか」という答えが書かれています。そして、この約束が破られるからこそ、子グマたちはひどい目にあうのです。

このように、この作品の冒頭では、おはなしの世界への誘い、場所と人物の紹介、伏線となる問題提起が簡潔、かつ耳で楽しめるように書かれており、「すっきりした始め」になっています。

*次号は「その9 おはなしを語る(3) おはなしを選ぶ 4」の予定です。質問や意見をいただきましたら、お答えしていきたいと思えます。(Y)

《3》 サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー

資料所在情報データベース補遺篇〈その3〉

今回、ご紹介するのは以下のサイトです。

- 国立国会図書館 「国立国会図書館サーチ」(NDL Search)

<http://iss.ndl.go.jp/>

日本で唯一の国立図書館である同館が運営するサイトです。国会図書館は、納本制度により日本国内の出版物を網羅的に集め、それら資料を将来に渡つ

て保存するという大切な役割を担っています。

このサイトの特徴は、国会図書館が所蔵する資料だけでなく、国内の公共図書館、公文書館、美術館や学術研究機関等のデータベースが横断的に検索できることです。

検索対象は、「国立国会図書館、都道府県立図書館、国立情報学研究所、国立公文書館、国立美術館や、民間電子書籍サイト等の、蔵書・出版目録、デジタル資料、立法情報、レファレンス事例等のおよそ 100 のデータベース」（同館HPより）で、文献情報数は 8,000 万件以上とのこと。

たとえば、『はらぺこあおむし』で検索してみると、資料種別では、本 74 件、記事・論文 12 件、児童書 16 件、レファレンス情報 12 件、デジタル資料 21 件、障がい者向け資料 3 件が表示されます。

作品（洋書含む）の国内所蔵状況（どの図書館に所蔵されているか）はもとより、研究論文や雑誌記事、「『はらぺこあおむし』の歌を聴いたことがあるが、CD や楽譜はないか」といったようなレファレンス情報が参照できます。

目次や資料の全文を対象とした検索ができること（ただしすべてではない）、同館のデジタルコレクションにて画像が提供されているものは書影が表示されること、パソコンとほぼ同等の検索機能がスマホにも対応していることなどもうれしいところです。（J）

※次号は、資料所在情報データベース補遺篇〈その4〉の予定です。

《4》 行って来ました！

伊丹市立美術館で3月1日まで開催されている「シャレにしてオツなりー宮武外骨・没後60年記念」に行ってきました。

宮武外骨は明治から昭和にかけて活躍した風刺の精神に満ち溢れたジャーナリストで、投獄されたり、発売禁止処分を受けたりを繰り返しながらたかさんの雑誌を創ったそうです。

展示の前半では、時代を追って約30タイトルの雑誌や図書が紹介されています。発売禁止となった「頓智協会雑誌」では、「大日本帝国憲法」発布式の絵のパロディで、骸骨が「頓智研法」を下賜する絵が展示されていました。

「滑稽新聞」「大阪滑稽新聞」「スコブル」などの雑誌は、風刺がきいていたり、淫靡な感じがしたり、おかしさを感じたりする表紙やページがずらりと並べられています。ところどころに「シャレにしてオツ」なポイントが解説されていて、手に取って読んでみたくなります。『筆禍史』『賭博史』などの本もおもしろそうです。また、関東大震災を取材し、発生からたった3週間ほどで発行されたという「震災画報」もありました。

後半は「滑稽新聞」の定期増刊号として発行された「絵葉書世界」の展示です。新しく収蔵された22点を中心に展示されています。それぞれ大きな一枚

もので、切り離すと30枚の絵葉書として使用できるようになっていて、色鮮やかに印刷されています。葉書の両面が見えるように吊るして展示されているものもあり、裏の絵の「オチ」が表の切手部分に描かれているのを見ることができおもしろいです。絵は日本画もあれば、マンガ風のもあり、風刺的なものもあれば、図鑑の動物の絵のようなものもあります。ひとつひとつの絵柄のおもしろさを味わいながらじっくり見て楽しみました。(K)

【3】全国のイベント紹介

● 大阪府子ども文庫連絡会 公開講座

「学校図書館を学ぶ！ ～豊中からの発信～」

講師：大源 文造（豊中市教育長）

安達みのり（豊中図書館の未来を考える会）

日時：2月10日（火）午前10時～12時 講演会 午後1時～3時 交流会

会場：大阪市立中央図書館 5階大会議室（大阪市西区北堀江）

参加費：無料 資料費：実費 事前申込み：不要

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

【4】プレゼント

今号のコラム《1》「YO!この本読んだ?」で紹介しました『サマーと幸運の小麦畑』を1名の方にプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガNO.53プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ(5)このメルマガのご感想をお書きのうえ office@iiclo.or.jp にお送りください。締切は2月10日（火）、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

寒い冬は、お風呂で温まるのが一番。子どもの頃、父と行った銭湯で、狭いサウナに入れられて苦しかった記憶がある。そのトラウマから抜け出すのに40年、今では月に一度は通うようになった。熱いサウナで汗を流し、マッサージで全身をほぐしてもらう。と、すぐに眠りに落ち、夢の中……。もちろん後には、ビールが待っている。ああ、今宵また私を呼ぶ声がする……。 (A)

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

●このメルマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。

●配信の登録・解除・変更は、

http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html パソコンからどうぞ

●このメールの送信アドレスは配信専用です。

●記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>
〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北 1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp
